



第1回
世人研究
ふらっと
プロジェクト

Kyoto Human Rights Research Institute

病気と人権

— ハンセン病とコロナ感染症から考えること —

群れるなひとりになれ

みんなになるなひとりになれ

一人になる

医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策

協力／真宗大谷派（東本願寺） 圓周寺 劇団名古屋 劇団神戸

語り／竹下 景子

監督／高橋 一郎

撮影／原ひろし

プロデューサー／鵜久森典妙

企画・製作

二人になる「制作実行委員会」

製作協力

「もういいかい」映画製作委員会

この映画は、ハンセン病回復者、和泉真蔵、徳田靖之、藤野豊等の証言をもとに制作しました。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、患者やその家族、医療従事者が差別を受けたことは記憶に新しいところです。
日本では、ハンセン病により患者やその家族は差別され、1996年まで強制隔離を解かれることはありませんでした。
病気を理由とした差別を繰り返さないために、ハンセン病の歴史やコロナ感染症との共通点を解説し、強制隔離に立ち向かった医師の姿を描いたドキュメンタリー映画を上映いたします。

● **ミニ解説** 坂元茂樹（当センター理事長・所長、神戸大学名誉教授）

● **ドキュメンタリー映画の上映**

「一人になる 医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策」

— 6月18日(水)～6月30日(月)までハンセン病関連書籍展示 —

日 時 2025年 **6月18日** (水) 午後2時～4時20分
場 所 世界人権問題研究センター 多目的スペース
定 員 60名 **無料** (先着順・事前申込制)

申込方法 インターネット、電話、FAXからお申込みください。

公益財団法人 **世界人権問題研究センター** <http://khrri.or.jp>

〒600-8206 京都市下京区下之町57番地1 京都市立芸術大学内A棟7階

Tel. 075-585-5897 Fax. 075-585-5898

E-mail: jinken@khrri.or.jp

インターネット
申込み



<https://khrri.or.jp/form-20250618.html>



第1回 世人研究 ふらっと プロジェクト

Kyoto Human Rights Research Institute

● ミニ解説 午後2時～2時30分



坂元茂樹

坂元茂樹 (さかもと しげき)

公益財団法人世界人権問題研究センター理事長・所長

公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長

神戸大学名誉教授

一般財団法人国際法学会代表理事、国際人権法学会理事長、日本海洋政策学会会長、日本海洋法研究会会長を歴任。また、国連人権理事会諮問委員会委員（2008年～2013年）を務め、2010年国連総会で採択された「ハンセン病者・回復者に対する差別撤廃のための原則とガイドライン」の特別報告者を務めたハンセン病問題に係る全国的な意識調査検討会座長

● ドキュメンタリー映画の上映 午後2時40分～4時20分

「一人になる 医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策」



ハンセン病とは

ハンセン病は、らい菌による慢性細菌感染症です。らい菌は極めて病原性が弱く、たとえ菌が感染しても免疫力（特異的防御免疫）が弱い体質の人しか発病しません。この免疫力が弱い体質の人は、生活が豊かになるにつれて減少するため、社会の進歩に伴って発症者が減り最終的にはゼロになって病気が自然消滅します。現在の日本で新たな患者が事実上なくなったのは、ハンセン病のこの特徴によるものです。

しゅ もく 撞木と鐘

ハンセン病発病は鐘の音が鳴るのと同じです。鐘の音は撞木と鐘とがうまく一致しなければ鳴りません。撞木と鐘。どちらかに欠陥があれば、叩いても音は出ない。撞木はらい菌で、鐘は体質です。日本の学会は撞木であるらい菌にばかりとらわれて研究しているが、音が出る鐘がどういふものか、つまりハンセン病発病をする体質がどういふものかを究めることの方が大事です。 小笠原 登



財団の概要

名 称 公益財団法人 世界人権問題研究センター (Kyoto Human Rights Research Institute)

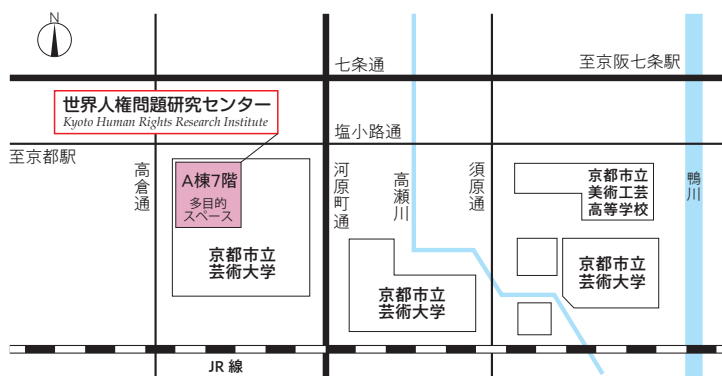
所 在 地 京都市下京区下之町 57 番地 1 京都市立芸術大学内 A 棟 7 階

設 立 1994 (平成 6) 年 11 月 22 日 (文部大臣許可)
※2012 年 4 月 1 日 公益財団法人 (内閣総理大臣認定) に移行

開 所 1994 (平成 6) 年 12 月 1 日

設立の目的 平安建都 1200 年を記念して、京都の歴史と伝統、特に学術を初めとする文化の蓄積を基礎に、人権問題について広く世界的視野に立った総合的な調査、研究を行い、この問題に關しての広範な学問分野での交流や国内、国外の研究機関及び研究者との連携、交流を推進し、国の内外にわたる人権問題に係る学術、研究の振興に寄与することを目的とします。

- 主 な 事 業
- ① 人権問題に関する調査、研究と国際的な学術交流の推進
 - ② 人権問題に関する文献、資料等の収集と提供
 - ③ 人権問題に関する研究成果の公表のための図書の刊行、講演会の開催等
 - ④ 上記のほか、本財団の目的を達成するために必要な事業



アクセス

- JR・地下鉄・近鉄電車「京都駅」から徒歩約6分
- 市バス「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ
- 京阪電車「七条駅」から徒歩約8分

病
気
と
人
権

— ハンセン病とコロナ感染症から考えること —

群
れ
る
な
み
ん
な
に
な
る
な
ひ
と
り
に
な
れ
ひ
と
り
に
な
れ